

山ノ内浄智寺奥の路沿いの景観(門塀、生垣、和風建築の家々) | 山ノ内

所有者:個人・浄智寺

浄智寺から源氏山への道の途中の民家の門塀です。昔ながらの形を維持しています。門の屋根の苔が風情があります。この道沿いには多くの美しい門や塀が続き、鎌倉随一の美しい街路だと思います。

もし今の鎌倉に、浄智寺奥の谷戸の風情が至るところに受け継がれていたらと思わずにはいられません。このような景観を普通のこととして守り継ぐことにこそ市民と行政の良識が問われていると言えると思います。この谷戸に足を踏み入れて、しみじみと「ああ、いいなあ」と思わない人はいないのではないかとすら感じます。日本の良さを見直し、それに浸れる貴重な空間です。(推薦文)

(評価ポイント)

- ・鎌倉らしいと感じる理想的な景観。
- ・個人の方と浄智寺がお互いに路沿いの景観に配慮して生垣や門塀の維持管理してきた。
- ・新しく建築された建物も路沿いの景観に調和するよう非常に配慮されている。

